

地域と調和し、繋がる輪。

福祉喫茶ハーモニー

ハーモニーは調和という意味。障がい者と住民、地域が調和できる喫茶店が町内にあります。

町

の芸術文化拠点として、数々のドラマが生まれる文化会館コピスみよし。その施設内にある「福祉喫茶ハーモニー」。地域と繋がる輪、調和という想いを込めて名付けられたこの喫茶店では、障がいのある10人が職員7人と共に働いています。それぞれの個性に応じて、開店準備や

メニュー貼り、調理補助などの業務を分担。自立促進、社会への適応力などの能力をここで養います。

憧れのウェイトレス

入り口の扉を開くと同時に「いらっしゃいませ。こちらの席にどうぞ」と笑顔で案内するのは知的障がいのある山田美穂さん(47)。その

ハキハキと動く姿からは、障がい者であることを感じさせません。

「ウェイトレス業務は障がいのある人にとって、憧れの職種なんです」と来客のレジ打ちを終えた、店長の相澤美穂さん(44)が言います。

「障がい者はどちらかというところ、優遇やサポートを受ける側。はじめは接客の意識が低く、お客さんが逆に気を遣ってくれる場面が多くありました」。これではお客さんが足を運ばないばかりか、何のために働くのか分からない。そこで対人への配



落ち着いた雰囲気の喫茶内。各テーブルにはお花が添えられ、お客さんの心を和ませる。ピカピカの床は、スタッフが丁寧に磨き、清掃している証拠。

赤ちゃんの椅子をサッと用意できる気配り

優遇を受ける立場からする側へ。次第に相手の気持ちを考えて、自発的に行動するように変化していきま

「ひとりですることが、たくさんあったんだな、と気がつきました」

食が繋ぐ地域の輪

ハーモニーの日替わりランチは、みよし野菜を使った料理が中心。「地域の皆さんに愛されるお店にしたいから、地産地消にこだわります」と話す相澤さん。三芳町への愛情、障がい者と住民が気軽にふれあえるようにと、町のキャラクター「みらいくん」の「のぞみちゃん」が焼印された今川焼「のぞみ焼き」や「のぞみらサブレ」などの商品を開発し、食を通じた地域の輪を広げています。

「誇らしげな表情が変わった」「性格が明るくなった」「家族以外の人のコミュニケーションが上手になった」「失敗しても、前を見て進むことができるようになった」。これらは、ここで働く障がい者の家族の声です。そばで見守り続けてきた相澤さんも「はじめは、おどおどしていた人が、徐々に自信に満ちた表情に変わる姿を見て、頼もしくなりました」と成長に胸を張ります。

障がい者が働いている喫茶店。お客さんに戸惑いはないのでしょうか。『笑顔に癒されます。障がいのある人たちが、頑張っている姿を見て、自分も頑張らなければと思いましたが』という声があるほど、皆さんに受け入れられています」と相澤さん



①開店前にテーブルを丁寧に拭く矢島和也さん(19)は知的障がい。踊ることが大好きで、嬉しいときは飛び跳ねて感情を表現する。②ハーモニーのキャラクター「なごみ」ちゃんをあしらったグッズ。デザインは精神障がいのある西川千華子さん(34)が考案。③松島有玲奈さん(21)は知的障がい。番号付けされたテーブルに間違いなく、しっかり配膳できるのは、培ってきた経験と自信だ。④クリームソースを作るスタッフ。スタッフがサポートする姿は「師弟関係みたい」と厨房が和む。⑤ワゴン販売用のコロッケが入った容器に、ソースを貼る保坂絵里さん(32)は精神障がい。三芳町庁舎の各フロアへお弁当のメニュー配布も行う。



相澤店長おすすめオリジナルメニュー

毎週金曜日は、三芳町の野菜を存分に使った「みよっ子カレー」を販売しています。また、お持ち帰りができる「のぞみらサブレ」や火・金曜日限定販売の「のぞみら焼き」など、三芳町のキャラクターを使い、地域活性化にも繋がっています。

※すべて税込価格

みよっ子カレー

600円 ※金曜限定販売



のぞみらサブレ

120円



のぞみら焼き

100円
120円





絵が得意な西川さん

福祉喫茶ハーモニー DATE

住所 三芳町藤久保 1100-1 コピスみよし内
営業時間 11:00 から 14:30 (土日祝、定休日)
☎ 090-1843-1366



笑顔で接客をする山田美穂さん。憧れのウェイトレスの仕事ができることを誇りに思い、おもてなしの心を大切にしている。すると相手も自然と笑顔がこぼれる。